

Hybrid Bass Guitar Amplifier



EDEN
Bass Amplification

WT-800 Hybrid Bass Guitar Amplifier

Softube ユーザーズマニュアル

© 2007-2015. Amp Room は、Softube AB, Sweden の登録商標です。Softube は、Softube AB, Sweden の登録商標です。Marshall, Super Lead, Plexi, 1959 に関連するロゴ、及びすべての視覚と聴覚のリファレンスは、ライセンスを受けて使用しているMarshall Amplification UKの商標です。Valley People Dyna-mite, Trident A-Range, Tonelux、Tiltへの視覚と聴覚へのリファレンスは、PMI Audioから書面による許諾を得て使用されている登録商標です。Tonelux、Tilt logo, Valley People, Dyna-miteに関連するロゴ、Trident, A-Range, Triangleのゴロはライセンスに基いて使用されているPMI Audio Groupの商標です。Summit Audio Inc. は、Baltic Latvian Universal Electronics, LLCの登録商標です。すべての仕様は予告なく変更することがあります。無断複写、転載を禁じます。

その他の会社名、および本書に記載されている商品名は、各社の商標、及び登録商標です。他社製品に関する記載は、情報提供のみを目的としており、保証、推奨するものではありません。Softubeは、これら製品のパフォーマンス、または使用に関して一切の責任を負いません。

Softube製品は、特許SE526523、SE525332、関連する特許/特許 WO06054943、US11/667360、US20040258250、EP1492081、EP1815459、JP2004183976によって保護されています。

ユーザーへのソフトウェアへの権利は付属のソフトウェア使用許諾契約書(EULA)に準拠しています。

謝辞とライセンスについて

‘zlib’ general purpose compression library version 1.2.8のzlib.h インターフェイス、April 28th, 2013。Copyright © 1995-2013 Jean-loup Gailly と Mark Adler。このソフトウェアの一部は、copyright © 2006 **The FreeType Project** (www.freetype.org)です。すべての著作権を保有しています。**WonderGUI** は、Tord Jansson のライセンスに基づき使用されます。© 2004, 2006-2014 Glenn Randers-Pehrson による**Libpng** のバージョン1.2.6, August 15, 2004 からバージョン 1.6.12, June 12, 2014 までは、同じ免責にとライセンスに従って頒布されています。いくつかのコードは、copyright © 2008 **The NetBSD Foundation, Inc** が所有しています。**VST** は、Steinberg Media Technologies GmbH のソフトウェアであり、商標です。Mac OS X のヘッダーは、**Apple Public Source License (APSL)** の元でカバーされ、<http://www.publicsource.apple.com/apsl/> でご利用可能です。

免責事項

あらゆる努力は、このマニュアルに記載されている情報が正確であることを確認するために行われました。しかし、我々はミスを行っている可能性があり、我々も人間であるということをご理解いただけますと幸いです。ミスを発見した場合、我々にお知らせください。マニュアルの後のバージョンで修正します。

サポート

Softubeのウェブサイト上 (www.softube.com)では、よくある質問(FAQ)や、様々な他のトピックへの答えを見るけることができます。

サポート的な質問は、<http://www.softube.com>、にポストしてください。

我々は出来るだけ速やかにお答えします。Web: www.softube.com

E-mail: info@softube.com

Phone: +46 13 21 1623 (9 am - 5 pm CET)

もくじ

1	<i>Eden WT-800 Bass Amplifier</i>	<i>5</i>
	ユーザーインターフェイス.....	6
	キャビネットとマイクロフォン.....	10
	メーター.....	11
	モノ/ステレオ・オペレーション.....	11
	クレジット.....	11
<hr/>		
2	<i>ゼネラルセッティング</i>	<i>19</i>
	メニュー.....	19
	キーコマンド.....	20



1 Eden WT-800 Bass Amplifier

現代の音楽制作にとってベースは重要です。Moog シンセのベースライン、躍動感のあるEDMリズム、歌うようなフレットレスベースのいずれにしてもクリーンなローエンドを必要としています。Eden WT-800 Bass Amplifierは、プロデューサーとベース奏者のための究極のベースレコーディング・ツールです。

Edenのフラグシップ・ベースアンプWT-800は、史上最高のベースアンプとして知られています。ベースに合わせて細部までチューニングされています。WT-800プラグインは、Edenのハイエンド・ベースアンプのパワフルでモダンなサウンドを提供するだけではありません。またEdenのトップモデルの4x10"と1x15"キャビネット、4種類のハイエンドスタジオマイクによるマイキングも含まれています。

このマイクは、Justin Timberlake、NSYNC、AI Greenなどでプレーしているプロデューサー、ベーシプレイヤーのTroy Antunesによって選ばれ、配置されています。Troy Antunesは、いくつかの専門的にデザインされたプリセットを提供しています。Eden WT-800は、ビンテージスタイルのベースアンプとは異なり、R'n'B、Hip-Hop、METAL、JAZZなどで使用するに十分な柔軟性を持ったモダンでダイナミックなソリッドなベースサウンドを提供します。

Eden WT-800はベースアンプのモデリングをはるかに超えています。ベースギターでのみ使用することに限らず、シンセベースでの使用にもウェイトを加えます。

WT-800プラグインは、UAのApolloインターフェイスを使用してレコーディングする際に究極の信頼性を実現するUnisonに対応しています。

低周波数に対する高い忠実度

ただシンプルに。

ユーザーインターフェイス

SoftubeのMarshallプラグインをよくご存知の方は右側にある隠れたチャンネルストリップ・パネルの存在に気付くでしょう。アンプをクリックして左にドラッグするか、パネルの端をクリックしてチャンネルストリップを表示します。



アンプ



アンプ

チャンネルストリップ

サイドバーをクリック、またはアンプをクリック&ドラッグしてチャンネルストリップを表示

アンプのパラメーター

Gain

アンプへの入力ゲインを調整します。演奏中に緑色のライトが点滅するように設定してください。

Enhance

Edenのマジックで、1つのノブを回すだけでモダンなベースサウンドを提供します。これは通常、最初に調整してください。

Bass, Treble

ベースアンプで3バンドのパラメトリック・イコライザーを使用する場合、ベース、トレブルから始めてください。すぐに期待するような効果が得られます。

ベースは、約100 Hzでのシェルビングフィルターです。トレブルは中心周波数が4 kHzのハイシェルフです。

Low Gain/Frequency

Mid Gain/Frequency

High Gain/Frequency

3バンド・パラメトリック・イコライザー：中域を強化、高域を調整したり、ローエンドを引き締めることができます。



Compressor

1ノブコンプレッサーによってパンチのあるアタックとファットなリリースを生み出します。このコンプレッサーは、トランジェントを破壊することなくトーンにパンチとアタックを加えます。柔らかいタッチでプレーしたい場合、コンプレッサーダイヤルを少しだけ回すとロングサスティンを得ることができます。インプットゲインはコンプレッション量にも影響にも影響するのでインプットゲインを高く設定するほど、コンプレッション量が高くなります。

G.R. LED

コンプレッサーがアウトプットボリュームをリミットしているときにゲインリダクションLEDが点灯します。

Master

メインボリューム。全体的なアウトプットボリューム・ノブとして使用してください。

Crossover, Bi-Amp Mode

バイアンプ・モードでは、アンプからのアウトプットは、クロスオーバーノブで設定されたクロスオーバー周波数で低域と高域に分割されます。低域シグナルは1x15"キャビネットへ、高域シグナルは4x10"キャビネットに供給されます。バイアンプ・モードを使用すると非常にクリアなミッドレンジが得られます。



チャンネルストリップのパラメーター

チャンネルストリップは、3つのチャンネルで構成されています。:基本的な1x15”キャビネット、よりブライトでバランスの良い4x10”キャビネット、のフロントマイク、そしてダイレクトオーディオ。

これは、WT-800の内蔵ダイレクトアウトではなく、マスターボリューム後のアンプから出力されたシグナルです。

Mic Selection (1x15” & 4x10”チャンネルのみ)
1x15” と 4x10”キャビネットには4種類のマイクが用意されています。2列にある4つのボタンを使用して2種類のマイクに対して使用するマイクを選択してください。

マイクの詳細については、以下のセクションを参照してください。

Phase Invert (すべてのチャンネル)

フェイズ(位相)は、そのチャンネルのフェイズを反転させます。それが“正しい”フェイズではない場合があることに注意してください。フェイズを反転させ、音がどうなるか確認してください。その音を気に入った場合、それをキープし、そうでない場合はもう一度このボタンを押して元に戻してください。

In(すべてのチャンネル)

すべてのチャンネルのオーディオをオンにします。

Level(すべてのチャンネル)

それぞれのチャンネルのレベルを設定します。

Tweeter Level(4x10"チャンネルのみ)

4x10"キャビネットの高周波数を強調します。4x10"にはツイーターが内蔵されており、背面にはレベルコントロールがあります。このノブは、レベルを調整します。

Meters, Clip LED

チャンネルメーターは、各チャンネルのピークレベルを表示します。アウトプットシグナルが0dBを超えると右上のクリップLEDが点灯します。

キャビネットとマイク

どのようにしてクリアで着色の無いトーンで多くのヘッドルームには？これはEdenが完璧なベースキャビネットを探求し始めた時の疑問でした。彼らは70年代後半にベースキャビネットを作り始め、そのデザインは、すぐにミュージシャンのツアー機材のスタンダードとなりました。これ以上の明快ローエンドを必要しないので、成功を収めたのも不思議ではありません。



Troy Antunes during the Kore Studios sessions.

Eden WT- 800プラグインに収録することは決めたキャビネットはこのアンプにもっとも使用されたD410XLTとD115XLTキャビネットです。

4x10"

D410XLTは、4x10"スピーカーレイアウトとデュアルポートデザインを採用しており、優れたローエンドの音色を実現しています。それはミックスで究極のローエンドを得るためにドライブを介してサウンドを投影する場合に最適なオプションです。

1x15"

D115XLTは、レスポンスの速い15インチのスピーカーを備えた調整されたポートを持つプロフェッショナルキャビネットです。高温のボイスコイルとEdenキャストベイルツイーターの組み合わせは、素晴らしいディティールとレスポンスを備えたクラシックで丸みのあるトーンを提供します。

マイクロフォン

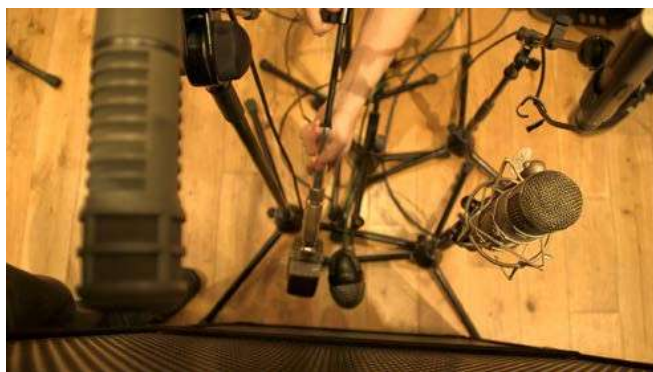
3人のベースプレイヤーにより、マイクに関する熱い議論を行いました。ベースプレイヤー以外により整理され、違いを生むために5種類の異なるマイクのサウンドのリストを作成しました。

AKG D112は、心地よいクラシックなサウンドが得られます。地味かもしれませんが、いわゆる“ベース”のサウンドと言えます。Electro VoiceのRE20は、D-112と同じくらいの低域と高域特性を持ち、中域にフォーカスしてウォームなサウンドが得られます。Neumann U 47は、すべてを備えています。フルレンジ、輝く高域、素晴らしく、バランスが取れたサウンドで、間違ったサウンドに導くことはありません。

最後の2つのマイクはベース用ではありませんが、素晴らしいバリエーションを与えます。RoyerのリボンマイクR-121は、スムーズな高域を持ち、4x10"をさらに扱い易くします。それはスムーズでもあり、アグレッシブでもあります。最後は間違いのない、巨大なMelodium Type Rリボンマイク、これでしか得られない巨大なサウンドが得られます。



Melodium Type R



Setting up mics for the session.



The Royer R-121 and U 47



The real deal.

Kore Studios のオーナー、George Apsionとそのマイクのラッキーなオーナーこう言います。：“Type Rは、ベース用の秘密兵器です。それは、1940年代初頭のフランス製のリボンマイクです。オリジナルのマイクを無傷の状態で見つけられるのは運が良かったです。それは多くのものが残っているわけではないので、そのサウンドを使用できるのはとても素晴らしい気分です。”

すべてのキャビネットとマイクは、Troy Antunes、Niklas Odelholm、Kim Larsson、George ApsionによってLondonのKore Studiosでレコーディングされました。

メーター

チャンネルストリップのピークメーターは、ここのラウドスピーカーのピークレベルを表示しています。すべてのメーターが0 dB以下であっても合計レベルが0 dBを下回ることを保証するものではありません。チャンネルストリップの右上にあるクリップLEDが点灯している場合は、0 dBを上回っています。Eden WT-800プラグインは、0 dBでのオーディオレベルをリミッティングしないので、それをはるかに超えるオーディオアウトが可能です。したがってレベルが0 dBを超えるDAWを使用している場合は、クリップLEDについてあまり気にする必要はありません。

モノ/ステレオ・オペレーション

Eden WT-800は基本的なモノラル・プラグインですが、Eden WT-800のステレオインスタンスをトラックに起動すると、両方のチャンネルを独立して処理することができます。シンセベースや、ドラムキットなどのステレオソースのエフェクトプロセッサとしてEden WT-800のステレオバージョンを使用することができます。

プリセット

多くのプリセットには、ベースアンプ、スタイル、曲、ビンテージアンプのトーンスタックに合わせ、慎重にチューニングされたイコライザーが装備されています。プリセットを調整するときは、**Bass**、**Treble**、**Compressor**、**Enhance**、cabinetsを最初に調整し、最後にセミパラメトリック・イコライザーを調整してください。コンプレッサーの設定はインプットゲインとベースに大きく左右されるため、つねに好みのコンプレッションが得られるように調整する必要があります。

クレジット

Kim Larsson - モデリング、プログラミング。
Niklas Odelholm - プロジェクトマネージメント、サウンドデザイン、グラフィックデザイン、ユーザーマニュアル。Arvid Rosén - Sharcチップ関連スタッフ。Björn Rödseth - プログラミング。Patrik Holmström - プログラミング。Paul Shyrinskykh - 品質検査。Troy Antunes - サウンドデザイン、プリセット。Jerker Odelholm - プリセットUlf "Rockis"
Ivarsson - プリセット。Ulf Ekelöf - 3D モデリング。



2 ゼネラル・セッティング

Softubeプラグインは、“見たそのまま”の製品です。素早く、効率的に操作できるよう直感的に数分以内に使い方を覚えることができます。メニューのような Softube のすべてのプラグインで同じような部分がありますが、それについてはこの章で説明します。プラグインの特定の詳細な情報に関しては、それぞれの章を参照してください。

メニュー

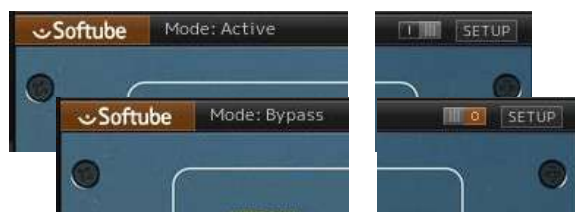
プラグインインターフェイスの下部には、いくつかのボタンと細い黒い列があります。ここでは例として、Chandler Limiter Zener Limiterプラグインを使用しますが、他のプラグインでも同様です。

About Box Aboutボックスを開くと、バージョン情報を表示します。

Value Display マウスがコントロールしているノブの値を表示します。

Enable プラグインを有効にします。オフにするとバイパスします。

Setup プラグイン全体の設定を変更するにはグローバル・オプションを使用します。



Enable

Enableスイッチがオンになっている場合 (i)、プラグインはアクティブになり、オーディオ処理がなされます。オフ (0) にするとバイパスされ、オーディオ処理されません。バイパス時のCPU消費率はかなり少なくなります。

“About” ボックス

バリューディスプレイ

Enable

セットアップ



セットアップ

セットアップウィンドウでは、プラグインの特定のインスタンスに影響を与える設定を行います。例えば、“Show Value Display”オプションの選択を解除した場合、プラグインは再びそのオプションを選択するまでシステム上のすべてのバリューディスプレイはオフになります。

WindowsとMacの間では、異なるオプションに変わっている場合があります。また異なるフォーマットやプラグインでも同様です。一般的なオプションは以下の通りです。

Show Value Display: プラグインの下の列でパラメーターと値の表示を有効にします。

Reverse Mouse Wheel Direction: (Mac OS のみ)ノブの動きに合わせてマウスホイールの上下を変更することができます。(Mac OS のみ)

変更を有効にするには、ホストアプリ(DAW)を再起動する必要があります。

もし、マニュアルでこのオプションを設定する必要がある場合は、下記の場所にテキスト形式でそれらを見つけることができます。:

Mac OS: ~/Library/ApplicationSupport/ Softube

Windows: username¥Application Data¥

キー・コマンド

プラグイン内のすべてのナンバーとラベルをクリックすることができます。これは簡単に希望する値を入力、設定することができます。ラベルの上にマウスを乗せると指差し型のポインターに変更されます。.

マウス

UP/DOWN マウスホイール

ノブやスイッチのパラメーター変更方法を選択

キーボード

ファインアジャストt ⌘ (Mac) or Ctrl (Win)

パラメーターの値を微調整する場合に使用

パラメーターのリセット

Altキーを押しながら、ノブやフェーダーをクリックするとデフォルト値にリセットされます。

パラメーターのリンク

Shiftを押しながらボタン、またはつまみを押す。

Metal Amp Roomの2つのマイク、またはZener Limiterのインプットとアウトプット・ボリュームなど、一部のプラグインは、パラメーターがリンクされています。両方のノブを同時に変更するにはShiftを押しながら片方のノブを調整してください。

